

2025.3
Vol.121

茨城 ふれあい

CONTENTS

1 協会事業

第34回外国人による日本語スピーチコンテストを開催しました
令和6年度 国際理解教育講師等派遣事業（ワールドキャラバン）

2-3 GLOBAL VIEW

国際交流から多文化共生、地域活性化という大きなテーマに向かって

4-5 交流の広場

わが町の外国人リーダー
Young Eyes / Across Culture ここが違っておもしろい！

6 地球だより

アメリカでの暮らしと時を超えても繋がる絆

県だより

外国人版いばらき幸福度指標を策定しました

7 For You

お知らせ

8 Said & Did

第34回外国人による日本語スピーチコンテストを開催しました



👑上位入賞者は以下の通りです。👑

賞	受賞者・タイトル
茨城県知事賞 若人賞	ゲンボリス ジョンボール ウィリアム（アメリカ出身） 「怖いものの向こう」
茨城県県議会議長賞 日本語ボランティア賞	デヴコナ ボース（インド出身） 「私にとって『日本』とは」
茨城県教育長賞	チン ウケン（中国出身） 「日本語上手ですね」
ひばり賞	コリアー コートニー サマー（アメリカ出身） 「とにかくやってみます」

2月15日（土）、ザ・ヒロサワ・シティ会館小ホールにて、第34回外国人による日本語スピーチコンテストを開催しました。多くの観客を迎え、会場は活気に満ち溢れていました。

このコンテストは、県内で生活している外国人の皆さんが日頃考えていることや、日本・茨城の印象、母国の話など、県民との相互理解を深めるテーマを日本語で発表し、異文化交流を促進するものです。

13か国54名の方から応募があり、選考の結果、アメリカ、インド、スリランカ、中国、ネパール、パキスタン、ベトナム、モンゴルの8か国、男女15名の方々に発表していただきました。

それぞれ異なる文化的背景を持った出場者が、日本での体験をもとに様々なテーマで話す内容は、どれもなるほどと感じるところがあり、考えさせられるものが多くありました。一つ一つのスピーチが聴衆の皆様に響くもので、国際理解を深める良い機会となったことと思います。また、民族衣装を着てスピーチをした発表者もいて、華やいだ雰囲気が会場をさらに盛り上げてくれました。

今年度は、16の協賛企業・団体から素晴らしい賞品を提供いただき、発表者全員に各賞が授与されました。

令和6年度 国際理解教育講師等派遣事業（ワールドキャラバン）

ワールドキャラバンとは

県内の学校や、生涯学習関係機関、並びに国際交流団体等が国際理解の促進を目的とした事業を行う際に、外国人等講師や参加型学習のためのファシリテーターを派遣する制度です。参加者に、外国人と直接対話する機会や、開発教育のワークショップ等を体験する機会を提供することによって、国際理解を深め、国際社会で活躍できる人材の育成を図ることを目的としています。昨年度同様、対面交流と並行してオンライン交流も実施しています。

今年度のワールドキャラバンでは、県内の小・中・高・特別支援学校、生涯学習団体等々に、外国人講師等を53団体・66件に派遣しました。（実施予定含む）

学校からは、「活動を通じて講師の先生方との交流も深まり、最後は名残惜しさも感じられるほど密な時間を過ごすことができた。」「生徒は民族衣装の実物を触ったり、着てみたりでき、興味津々で楽しみながら授業に参加をすることができた。」などの感想をもらいました。

また外国人講師の皆様からは、「生徒達と文化交流をしたり、自分の経験を伝えたりすることができ、活動に参加できたことをとても誇りに思います。」「日本の様々な文化や価値観に触れることができ、異なる背景を持つ人々と深く交流することができたことが、非常に刺激的でした。」などの感想をもらいました。

県内における在留外国人人数が増加傾向にある今、地域や学校にて海外ルーツを持つ方々と関わる機会が多くなっていきます。他国の文化や、その人達の経験を理解するきっかけとして、当事業をご活用いただければ幸いです。

令和7年度の事業（派遣申請等）については、準備でき次第当協会ホームページに掲載予定です。ご興味のある方はお気軽にお問い合わせください。



国際交流から多文化共生、地域活性化という大きなテーマに向かって

多様な主体との連携や協力の試み

当協会の事業は、国際交流・理解の推進と、その先にある日本人と外国人とによる住民同士の相互理解に基づく地域づくりというゴールに向けられています。当協会単独では限界があることも、多様な主体との連携や協力により広く普及し、より効果的になることがあります。

県主要産業「農業」(JA 茨城県中央会) × 留学生の地域交流

外国人からみた茨城の「農産物」等魅力発見と国内外への体験発信

(1) クエスト茨城留学生研修バスツアー、(2) 世界の料理ミーティング

開催 (1) 2024年11月23日(土)、
(2) 2024年8月31日(土) 及び2025年1月18日(土)
主催 当協会、協力 JA茨城県中央会
趣旨・概要 当協会とJA茨城県中央会とは包括連携協定のもと、県内留学生等に対し、本県農産物の質と魅力を周知するとともに、食を通じた国際交流と相互理解を図り、もって茨城農業の進展と多文化共生社会づくりを進めています。



- (1) JA関連施設を訪問し、担当者から組織の役割や現在の事業取り組みについて留学生が講義を受講し質疑応答を行ったほか、畑でキャベツ、ニンジンの収穫体験等を行いました。
- (2) 水戸市にあるJA茨城県中央会の情報発信基地「クオリテLab」のキッチンを使い、JAから県産農産物等の提供を受け留学生の母国料理等を調理しました。留学生が交流しながら、茨城のおいしい野菜や農産物を海外に発信する機会、県産品が異文化とコラボレーションする機会をつくりました。(JAグループ茨城公式YouTubeチャンネルでダイジェスト版公開中)



関係組織による「協議会形式」の実施体制 × 国際理解教育

外国人ゲスト講師との直接交流で、子どもから大人まで世界を学び・身近で行動

ワールドキャラバン (国際理解教育講師等派遣事業)

開催 通年 (2025年1月31日時点、108名を派遣し、学校・生涯学習の場で合計約3,000人が参加)
主催 茨城県国際理解教育推進協議会 (事務局: 当協会、構成8団体: 県教育庁義務教育課・高校教育課・特別支援教育課・生涯学習課、県営業戦略部国際渉外チーム、JICA筑波、茨城地域留学生交流推進協議会 (事務局の茨城大学)、当協会)



趣旨・概要 県内の学校、生涯学習関係機関、国際交流団体等が国際理解の促進を目的とした事業を行う際に、留学生や地域住民などの外国人講師や参加型学習のためのファシリテーターを派遣しています。学校等への広報は協議会構成員である県教育庁担当課等を經由して配布しています。児童・生徒などが外国人と直接対話する機会を通し、国際理解を深めグローバル社会で活躍できる人材の育成等を図ります。近年は英語教育にも貢献しています。



法律などの専門家等 × 当協会外国人相談センター

外国人集住地域に各分野の専門家等が出向き通訳付きで相談対応

外国人のための一日無料出張専門家相談 (計5回)

開催 2024年6月30日(日) 土浦市、9月8日(日) 筑西市、
10月20日(日) 鹿嶋市、11月10日(日) つくば市、
2025年1月26日(日) 古河市

主催等 茨城県、茨城県国際交流協会、弁護士会 (県、関東)、開催市町ほか
趣旨・概要 外国人が日本で生活する上での疑問や問題を解決するため、弁護士会等の協力のもと、法律、労働、婚姻、在留資格などに関する出張相談会を開催しました。弁護士、行政書士、社会保険労務士のほか、出入国在留管理庁職員、茨城県外国人材支援センター職員、開催市町職員が協力して、外国人からの相談内容に応じて担当分野での専門性に基づく対応を行いました。



行政 × 日本語支援者（ボランティア） × 日本語教師 × 企業 × 外国人

相互理解・多文化共生・地域活性化に向けて、みんなで創る茨城の地域日本語教育

茨城県地域日本語教育の体制づくり（5年目） ほか

開 催 通年（イベントは、関係者連絡会議、地域日本語教育コーディネーター派遣、外国人日本語初学者への日本語教師による日本語教育、日本語支援者養成講座、日本語教師対象の地域日本語教育人材養成研修、など実施）

主 催 当協会（県からの受託事業、または自主事業）

趣旨・概要 外国人の日本語コミュニケーション力向上と地域とのつながりづくりのために、“居場所・交流の場”と“専門家による日本語初学者対象の日本語教育の場”を地域日本語教育システムとして描き、それぞれの場に参加する支援者の養成や日本語教師対象の人材養成等を行いました。さらに、市町村レベルで日本語初学者向けの日本語教育が実施されるようカリキュラム案作成と日本語教師がオンラインで実際に外国人に日本語を教えるコースを開催しました。日本語支援者の養成及びスキルアップについては、当協会自主事業「日本語サポートセミナー／ビギナーコース、アクティブコース」で講座を開催しました。



海外での専門性 × 国内での実績やネットワーク

外国人を取り巻く課題解決に、効果的につながる・つなげる

外国籍家庭向け日本の教育ガイダンス

開 催 2025年1月12日（日）

主 催 IBARAKI LINK（構成組織等：認定NPO法人茨城NPOセンター・コンモンズ、独立行政法人国際協力機構（JICA）、特定非営利活動法人シャプラニール＝市民による海外協力の会、公益社団法人シャンティ国際ボランティア会、特定非営利活動法人国際活動市民中心（CINGA）、八千代町地域おこし協力隊（多文化共生）、当協会）

趣旨・概要 県西地域の外国籍家庭における不就学児童生徒への就学支援を目的とし、海外事情に精通した組織と国内での支援で経験がある組織等が強みを出し合うべく協力し、公募によって参加した外国籍親子等に対し、日本における教育制度、入学準備、入試、奨学金等の情報提供と、母語で個別に相談できる機会を設けました。通訳支援者も20名13言語に対応する体制を整えました。スリランカ、パキスタン、ペルーほか計8か国から12家族36名が参加しました。



学術研究 × 現場実践・外国人とのつながり

茨城の多様な外国人コミュニティの実態に着目した「日本語よみかき」研究と実践との橋渡し

国立国語研究所 共同研究プロジェクト「多様な言語資源に基づく日本語非母語話者の言語運用の応用的研究」のサブプロジェクト「定住外国人のよみかき研究」

開 催 2024年9月7日（土） 研究集会「エスニックコミュニティと日本語のよみかきー茨城県の多文化共生を支えるキーパーソンの語りからー」

主 催 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立国語研究所「定住外国人のよみかき研究」プロジェクト

後 援 茨城大学、当協会

趣旨・概要 茨城県は外国人の人口増加地域であり、外国人コミュニティが存在します。多様なコミュニティの実態と外国人によるゆたかな日本語よみかき実践について事例を交えた議論を行いました。筑西市にあるタイ仏教の寺院からオンライン開催（ライブ配信）により、講演及び外国人当事者と日本人支援者を招きパネルディスカッションを行いました。



外国人が急増し、受入環境整備や諸課題の解決支援が急がれています。県民の皆さまへの情報提供や、「自分もこれならやってみよう」と思っただけの協力・交流機会の提供に努めます。同時に、行政・教育・就労・福祉などの分野の官民組織や、エスニックコミュニティ等とつながり、共感や同じ方向性を共有しながら、国際交流や多文化共生について一緒に考え、地域の未来を共に創っていきます。





わが町の外国人リーダー



在日茨城県ベトナム人協会の紹介
＝在日ベトナム人への支援と、日越文化の懸け橋に！＝

グエン ホン ソン／（ベトナム・ハノイ出身）／
在日ベトナム人協会連合会、在日茨城県ベトナム人協会 会長

2024年6月末現在、県内には約19,000人のベトナム人が暮らしています。

ソンさんは2010年に来日し、明治大学で修士課程修了後、筑波大学で博士号を取得しました。2019年に設立された在日茨城県ベトナム人協会は、在日ベトナム人コミュニティを支援するために様々な活動を展開して、団結と発展を目指しています。

在日ベトナム人への支援

○ベトナム人労働者への法的アドバイスと相談支援

県内で働く、ベトナム出身の皆さんを対象に、労働法、居住、保険、その他法的問題に関する専門相談をオンラインや対面で行い、安心して働ける環境と、ベトナム人労働者の権利を守ることを目的に活動しています。



○日本の法律などを守るための最新情報の提供

法律の変更や新しい規定、政府の支援プログラムなどを、SNSやウェブサイトを通じて定期的に提供することで、最新の情報を届けるようにしています。

○スポーツ、文化、グルメイベントの開催

法的支援だけでなく、各種イベントを主催しています。これまでにサッカー大会や、テトマーケット（ベトナム旧正月のイベント）、ベトナム料理教室などを開催して、多くのベトナム人が参加しました。これらのイベントは、在日ベトナム人が、故郷の文化や風習を楽しむ機会を提供し、ベトナム人コミュニティの絆を強めています。

ベトナムと日本の懸け橋になる活動

○地域住民との文化交流イベントの開催

ベトナム人と地域の方々との文化交流のためのイベントを開催しています。これまでに文化まつり、芸術イベント、音楽交流が開催され、地域の方々がベトナム文化をより深く理解する機会を提供してきました。

○地域での連携と交流

茨城県とベトナムの地域間の連携にも注力しています。経済、文化、教育における連携を通じて、茨城県とベトナムの省や都市との友好関係を強化し、双方にとって、より発展できる機会となるよう、願っています。

このように、いろいろな活動を通じて、在日茨城県ベトナム人協会は、茨城県内のベトナム人コミュニティにとって欠かせない存在となり、日本とベトナムの友好関係をさらに深める役割を果たしています。



言葉の壁を越えて

「どんな形でもいいから、恩を返したかった。」そう思ったことがきっかけで、この活動は始まりました。現在私は、「革命スイーツGirls」として銚田の特産品を取り入れたスイーツの開発を行っています。考えているのは、東南アジアのスイーツに「パインフラン」「アガール」「タホ」の3つです。その中で、「タホ」というスイーツは、フィリピン人である母のために開発しようと考えました。

その活動を弁論にして発表し、令和6年度第61回国際教育弁論大会「茨城県知事賞」をいただきました。大変うれしく思います。

私の母はフィリピン人であるため、難しい単語だと話が伝わりません。それが原因となり、いつも言い合いに発展してしまいます。しかし、この17年間ずっと見放さずに私を育ててくれました。家に帰ってくると、美味しい料理がいつも作られています。悲しいときも、辛いときも、母の料理は私を笑顔にさせてくれます。また、食べているときに「言葉」は必要ありません。美味しいという感情は共通であり、「言葉の壁」をなくしてくれます。私はそんな時間を当たり前かのように思っていて、大切にしていまませんでした。「いつもありがとう」この活動で感謝を伝えられたらいいと思います。

また、言葉が伝わらないことが原因で、困っている方は、私以外にもたくさんいます。特に身近な方は、学校のある銚田市の農家で働いている「技能実習生」と呼ばれる外国人です。外国からせっかく来ているのにもかかわらず、交流を持ってないことが多いのです。そんな方達へ、私達の開発したスイーツを届け、「美味しい」と笑顔になってもらいたいです。人を笑顔にする母の料理のようなスイーツを通して、「言葉の壁」をなくしていきたいです。外国人の方と、過ごしやすい未来を目指して、これからも私は、活動を続けていきます。

銚田第二高等学校2年
中園 未来好香



ACROSS CULTURE ここが違っておもしろい!

ジェフ・ラッジ

私の名前はジェフ・ラッジです。フランス出身ですがフランス人ではありません。父はイギリス、母はドイツ出身で、私はスイスで生まれました。そのため「母国はどこですか?」と聞かれると答えに困ります。私はドイツとイギリスのパスポートを持っています。

フランスで育ちましたが、自宅はスイスとの国境近くで、スイスのジュネーブまでは車で10分ほどです。ジュネーブの高校に通っていたため、毎日国境を越えていました。

この地域は美しく、山に囲まれスキー場が多いので、冬が一番好きでした。夏の気候はおだやかで蚊が少ないので、たいていテラスで食事をします。ぜひ訪れてみてください。



スイス ジュネーブ大噴水

【日本に来たきっかけは?】

人生とは不思議なものです。2002年、ニュージーランドへの永住を考え旅をしていました。果樹園で働いていたとき、美しい日本人女性に出会い、一緒に旅をするようになり、結婚しました。旅を続けたい気持ちもありましたが、「少しの間日本に住むのも面白そうだ」と思い、気づけば20年が経ちました。

【日本とヨーロッパ文化 ここが違って面白い!】

日本と私の「国々」との違いは多すぎて答えるのに迷います。日本とヨーロッパの文化はほとんど正反対なので、20年間日本に住んでも不思議に思うことがあります。しかし、一番大切なのは、違いを受け入れることだと思います。「郷に入っては郷に従え」の通り、常に自国と比較する外国人には日本での生活は難しいでしょう。

例えば、日本人は言葉と本心が異なることがあります。特に面白いと感じたのは「贈り物」です。贈り物をすると相手が何かを返してくれるため、「贈る喜び」が薄れると感じる場合があります。息子が生まれたとき、5,000円のお祝い金をいただき、その半額分をお返しする習慣に驚きました。妻に「お釣りを渡せばいいか」と冗談を言いましたが止められました。ありがたい習慣ですが、出産後の妻には負担だったと思います。



フランス クレ・ド・ラ・ネージュ山



フランス トワリーの教会

【私の将来の目標】

私の仕事は提灯作りです。さらに上達するよう努力し、趣味のステンドグラスを提灯に取り入れた新しい作品作りにも挑戦しています。

地球だより News from the earth

アメリカでの暮らしと時を超えても繋がる絆

地域活動ボランティア・元ナッシュビル市議会議員 美奈ジョンソン

テネシー州ナッシュビルよりお便りいたします。1989年、新規レストラン開業を任せられ、単身でアトランタに渡り、会社設立、改装工事、従業員採用、ビザ取得、そして開店と、知り合いもいない土地で手探りながらも全てをやり遂げました。それ以来、人生の半分以上をアメリカで過ごしています。寿司バーとイタリアン料理、ジャズの生演奏という先進的なコンセプトは時代を先取りし過ぎて閉店となりましたが、この経験は今でも私の大切な宝物です。

母の故郷である茨城では、幼少期から高校まで過ごしました。帰国のたびに中学や高校の同窓生がミニ同窓会を開いてくれるなど、時を超えた友情に心温まる思いです。

ナッシュビルはテネシー州の州都で「ミュージックシティー」として親しまれ、カントリー音楽の発祥地として有名です。グランド・オール・オープンやブロードウェイ、ミュージック・ロウなど、音楽ファンにとって見逃せないスポットが数多く点在しています。また「南部のアテネ」とも呼ばれ、ヴァンダービルト大学をはじめとする教育、医療、芸術機関も集結しています。さらに、1960年代に行われたランチカウンターでの非暴力的抗議活動は、公民権運動の象徴的な出来事として歴史に名を刻みました。近年では急速な都市開発が進み、新しいスタジアムの建設を含め、市内には常時数十のクレーンが立ち並ぶ活気のある街となっています。水戸とほぼ同じ緯度に位置しますが、夏の暑さと冬の寒さはやや極端です。「全米で最もフレンドリーな都市」とも言われ、サザンホスピタリティは日本のおもてなしに通じるものがあり、日本人にも住みやすいと評判です。

アメリカで暮らして感じることは、メディアに描かれるイメージと実際の生活とのギャップです。自由と平等な国という印象が強いかもしれませんが、州や地域ごとに文化や政治が大きく異なっています。個々の自由が保障されている一方、責任も伴います。また、アメリカ市民や住民が民主主義へ誇りを持ち、理想を追求し続ける姿勢にはとても刺激を受けます。今年1月から第二次トランプ政権が始まりました。彼の政策やスタイルには賛否両論ありますが、「人民の人民による人民のための政治」という民主主義の理想を、アメリカ社会がどのように維持し実現していくのか、世界的な関心を集めているのではないのでしょうか。私は市議会議員としての経験を活かし、今後とも日米両国の相互理解を深める懸け橋となるよう、微力ながら貢献していきたいと思っています。



お月見会：オコネル市長(左)とハガティ上院議員(右)と一緒に



ナッシュビル姉妹都市協会長として代表団を率いて鎌倉訪問

ナッシュビルの街の案内ビデオ

<https://youtu.be/fZ6uVZlSUU>

ナッシュビル市のプロモーションビデオ

<https://youtu.be/7vAPCHQUD9g>

県だより

外国人版いばらき幸福度指標を策定しました

茨城県産業戦略部労働政策課

茨城県では、外国人から「選ばれる」県を目指し、人材の確保・育成から生活・教育環境の整備に至るまで、あらゆる施策を推進しています。

この度、本県の強み・弱みを客観的な指標で可視化させ、施策の充実・強化につなげていくため、全国で初めて「外国人版いばらき幸福度指標」を策定いたしました。

在留外国人、外国人の受入れ企業や団体、学識経験者からの意見を踏まえ、全国の他自治体と比較可能、かつ客観的に評価

可能な政府統計等を活用し、「働く」「住む」「学ぶ」の3分野で計14指標を設定・算出した結果、本県の総合順位は4位となりました。

今後は、指標から見える本県の強み・弱みを踏まえ、各施策の強化に努めていくとともに、国内外に向けて本県の働きやすさや暮らしやすさを広く発信していきます。

詳しくは、下記QRコードから茨城県ホームページをご覧ください。



茨城県ホームページはこちらをご覧ください

外国人版 いばらき 幸福度指標 Happiness Index for Foreign Nationals

4位 / 47都道府県



貯金仕送りしやすい指数	
日本人と外国人の共働率	
外国人雇用事業所率	6位
専門的・技術的人材率	
外国人労働者の失業者率	



日本人と外国人の共生率	
外国人相談窓口設置率	
地域(生徒)の英語力	5位
日本語教室設置率	
外国人患者受入医療機関率	



外国人児童・生徒率	
日本語指導を必要とする児童・生徒への支援体制	
外国人生徒向け入学特別定員枠等の設定率	6位
留学生率	

外国人版いばらき幸福度指標

25年度春期世界文化セミナー 参加者を募集しています！

毎回様々な国籍のゲストを講師に迎え、英語で母国を紹介した後、意見交換を通して、異文化理解を深めています。今期セミナーは、県国際交流員セイフェン・ジャワ(フランス出身)が司会となり、英語で進行します。24年度秋期セミナーでは「日本で暮らすインドネシア人ムスリムの経験」、「ブラジルを知る: 多様性、文化、そして現代の課題」や「南ア音楽: クワイトとアマピアノ」など多岐に渡るテーマと地域が取り上げられました。英会話力を高めたい方、各国の社会情勢に興味をお持ちの方、下記のQRコードよりは是非お申し込みください！

詳細はコチラ↓



各国事情紹介講師募集中！

県内の小・中・高校や生涯学習講座などで、海外の文化等を紹介する講師を募集しています。外国人の方はもちろん、海外在住経験のある日本人の方も講師として登録できます。外国の文化、生活、歴史等の紹介ができる方、民族の踊りや楽器演奏ができる方、民族衣装や民芸品の実物を持参できる方、外国の料理や遊びを通して子どもたちとふれあいたい方など、様々な形で外国について紹介できる方からの応募をお待ちしています。募集は随時、詳細はお問合せください。

茨城県留学生親善大使を募集します

国際交流活動に意欲があり、県内の学校などで母国について紹介し、茨城県と母国を繋ぐ架け橋の役割を担う外国人留学生を「茨城県留学生親善大使」に任命します。(2025年6月頃に任命式開催予定)
興味のある方は、ぜひ当協会のホームページをご覧ください。

詳しい情報は
コチラ↓



賛助会員を募集しています！

当協会では、茨城県に在住する外国人の皆様が安心して生活できるよう、多言語による相談事業や情報提供などを実施し、外国人の皆様にも住みよい地域づくりに努めています。また、より多くの県民の皆様が外国の方々と交流し相互理解を深める機会を提供するために、留学生や在住外国人の方々、交流団体の皆様と連携し、様々な交流事業も展開しています。

皆様からのご支援をもとに、さらに充実した活動を続けて参りたいと存じますので、賛助会員へご加入いただき、お力添えください。

会員になると、機関紙「ふれあい茨城」の送付、各種イベント等情報の提供、協会施設の優先利用、提携旅行社の割引などの特典があります。

また、賛助会員は、公益法人への寄付として申告により所得税や法人税の優遇措置の適用を受けることができます。

皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

賛助会費	団体会員	1口 10,000円(1口以上)
	個人会員	1口 3,000円(1口以上)



※賛助会特典、税金の優遇措置の詳細については、当協会HPをご覧ください。

～JICA海外協力隊2025年度春募集のお知らせ～

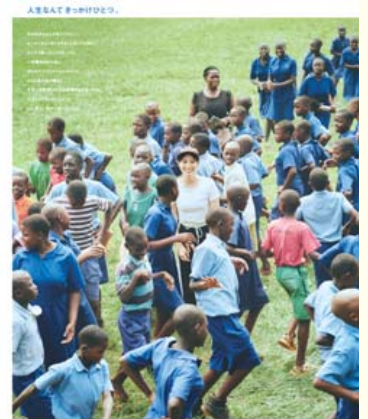
JICA海外協力隊を3月21日(金)～5月9日(金)の間募集します。

あなたの力を世界の誰かのために役立ててみませんか？

20～69歳までの方にご応募いただけます。

海外や国際協力、ボランティア活動に興味のある方ならどなたでもご参加いただけます。

応募相談は下記にて受付中です。



いつか世界を変える力になる
JICA
海外協力隊
春募集 3/21～5/9



問合せ先

JICA茨城デスク((公財)茨城県国際交流協会内)

国際協力推進員

電話番号: 029-241-1611

Eメール: jicadpd-desk-ibarakiken@jica.go.jp



詳細はコチラ↓

令和7年度 団体賛助会員

(令和7年1月末現在) ※敬称略

イガラシ綜業株式会社
石岡商工会議所
「茨城アジア教育基金」を支える会
いばらき印刷 株式会社
茨城グローバルシップ株式会社
一般社団法人 茨城県医師会
公益財団法人 茨城県開発公社
茨城県火災共済協同組合
一般社団法人 茨城県観光物産協会
茨城県行政書士会
一般社団法人 茨城県経営者協会
一般財団法人 茨城県建設技術公社
茨城県市長会
社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会
茨城県商工会議所連合会
茨城県商工会連合会
茨城県信用組合
茨城県信用保証協会
茨城県青年海外協力隊を育てる会
茨城県世界青年コミュニケーションクラブ(WYCC)
茨城県中小企業団体中央会
茨城県町村会
茨城県日中友好協会
茨城交通株式会社
株式会社 茨城ポートオーソリティ
株式会社 茨城読売 I S
鹿島埠頭 株式会社
鹿島臨海通運株式会社
鹿島臨海鉄道株式会社
株式会社 要建設
Global Exchange Education
株式会社 光和印刷
古河市国際交流協会
国際ソロプチミストつくば
J A 茨城県中央会
株式会社 常陽銀行
常陽トータルサービス 株式会社

昭和建設 株式会社
鈴縫工業 株式会社
関彰商事 株式会社
株式会社 高野高速印刷
社会医療法人 達生堂 城西病院
筑西市国際友好協会
中国武術茨城推進協会
チョッ サラン
株式会社 筑波銀行
株式会社 つくば研究支援センター
電機連合茨城地方協議会
那珂市国際交流協会
日本原子力発電 株式会社 東海事業本部 地域共生部
日本語学校つくばスマイル
日本語ゆめラボ
日本労働組合総連合会 茨城県連合会
ヌーベルアージュ株式会社
ヌーベルキャリア株式会社
ヌーベルメディア株式会社
ハン サラン
常陸大宮市国際交流協会
日立商工会議所
広沢商事 株式会社
フレンドリーあんず
フレンドリージャパンワールド
水戸市原国際交流ふれあいの会
水戸商工会議所
メサフレンドシップ
株式会社 めぶきリース
株式会社 ライフサポート山野
株式会社 ルックアット
国際交流おもてなし「瑠璃の会」
ワタヒキ印刷 株式会社

計70団体

皆様のご支援とご協力に
心より感謝申し上げます。

Said & Did

第2回クエスト茨城留学生研修を実施しました

秋のクエスト茨城留学生研修を、11月23日（土）に実施しました。本ツアーは、留学生が茨城県への理解を深め、愛着を持って留学生活を送ることを目的としており、留学生25名が参加しました。

今回はJA茨城県中央会のご協力のもと石岡市と結城市を訪問しました。午前には石岡市にある新規就農者支援や農福連携等の事業展開を行う企業の見学、野菜収穫体験、そして午後は結城市において結城紬の「染め」「織り」体験、着付け体験、お寺にある坐禅堂にて坐禅体験を行いました。

石岡市の企業訪問では、事業内容とJAの概要について講義を聞き、県内農業の状況について学びました。そしてキャベツや小松菜の収穫体験を通じて、自分で野菜を収穫することの喜びを実感することができました。結城市訪問時には、結城紬の各種体験を通じて県の伝統工芸品の素晴らしさを理解したり、坐禅体験を通じて安らぎの時間を過ごしたりと、留学生にとって貴重な経験になりました。

バスツアーを通して、日常では得ることのできない多くのことを吸収したり、他の学校の留学生と交流したりと、実りある一日を過ごすことができました。



第2回クエスト茨城留学生研修

茨城ふるさとファミリー事業

19家庭のホストファミリーにご協力いただき、茨城県留学生親善大使21名、外国人指導助手（ALT）等2名が、1泊2日のホームステイを通じて日本の生活を体験しました。

ホストファミリーからは、「幼い子供がいる家庭で、ゲストの方が子供達のことを気にかけて頂いたことに感謝いたします。」、またゲストからは、「日本の家族の絆を感じ、母国の家族と同じ温かい雰囲気を感じとりました。」との感想をいただきました。なお、当協会ではホストファミリーを通年で募集しています。ご家庭で国際交流をしてみませんか。



茨城ふるさとファミリー事業

詳しい情報は
コチラ↓



見て・聞いて・触って学ぶ、世界の食と農！ 「JICAつくば地球ひろば」へご来場ください

2025年2月8日にJICA筑波（独立行政法人国際協力機構 筑波センター）の展示施設が「JICAつくば地球ひろば」としてリニューアルオープンしました！

「JICAつくば地球ひろば」では、私たちが生きるために欠かせない“食”、そしてその“食”を支える世界の農業をテーマに開発途上国の現状や、地球が抱える課題、世界と私たちのつながりを、「見て・聞いて・触って」理解を深める体験型展示をご用意しています。

昨今の国際情勢の下、「JICAつくば地球ひろば」は国際理解を推進していく拠点として、NPO、教育機関、民間団体や行政、企業、学生の皆さん等、多くの地域の方々にご来場いただき、国際理解や交流、情報発信の場としてご活用頂きたいと考えております。

施設内には体験型展示空間の他、多国籍料理を味わえるレストランや国際理解や国際協力に関する図書や世界の絵本、農業分野の資料などもたくさん取り揃えている図書館もあり、開館中はどなたでも自由にご利用いただけます。

ぜひJICAつくば地球ひろばへご来場ください。

【問合せ先】

JICA筑波
〒305-0074 茨城県つくば市高野台3-6
電話番号：029-838-1111（代表）

施設概要・開館時間は
コチラ↓



つくば地球ひろば展示

編集・発行



（公財）茨城県国際交流協会

〒310-0851 茨城県水戸市千波町後川745 ザ・ヒロサワ・シティ会館分館2F
TEL:029-241-1611 FAX:029-241-7611

ホームページ <http://www.ia-ibaraki.or.jp>
メールアドレス iaa@ia-ibaraki.or.jp